

宛先形式を指定したリンク

axf:destination-type により、リンク先をどのように表示するか宛先形式を指定したリンクを生成できます。指定できる宛先形式の値は、xyz-left-top：コンテンツがウィンドの左上になるよう表示、fit：全体表示、fith：ウィンドウの幅に合わせて表示、その他、描画領域の幅に合わせて表示する fitbh などがあります。詳細はオンラインマニュアルの「[axf:destination-type](#)」をご参照ください。なお、外部リンクは宛先形式に加え、axf:action-type でリンク先の URI は PDF であるとみなす gotor を指定して内部リンクと同様に ID、ページ番号の指定ができます。

宛先形式を設定した内部リンクの例

[宛先形式 xyz-left-top、ID 指定、表示倍率（100%）](#)：

リンク元に internal-destination="link-xyz"、リンク先に id="link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" 指定

[宛先形式 fit、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

internal-destination="2#view=fit" 指定

[宛先形式 fith、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

internal-destination="2#view=fith" 指定

[宛先形式 fitbh、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

internal-destination="2#view=fitbh" 指定

宛先形式を設定した外部リンクの例

[外部ファイル（attachment-sample-2.pdf）へ宛先形式 xyz-left-top、ID 指定、表示倍率（100%）](#)：

リンク元に external-destination="/attachment-sample-2.pdf#nameddest=external-link-xyz" axf:action-type="gotor"、リンク先の外部 PDF へ id="external-link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" 指定。URI 中のパラメータは nameddest のみが有効です。

[外部ファイル（attachment-sample-2.pdf）へ宛先形式 fit、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

リンク元に external-destination="/attachment-sample-2.pdf#page=2&view=fit" axf:action-type="gotor" 指定

指定したリンク先の宛先形式の位置が分かりやすいように各領域に線を引いています。

id="link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" が指定されている fo:block